

## 第3章 計画の基本的な考え方

### 1 基本理念

#### みんなで作ろう福祉の輪 おおいずみ

前回計画の「みんなで手をつなぎ、広げる笑顔の輪 おおいずみ」をベースに、人口減少や、アンケートからみえる地域とのつながりの希薄化、コロナ禍で再確認した家族・友人・地域とのつながりの重要性、関係団体アンケート結果で挙げられた地域・団体・機関との連携の大切さを「地域により多くの人がかかわっていく」ことを「みんなで」に込め、既存の取り組みを拡大しながら、新しい生活様式を取り入れ持続可能な地域をつなぐを築いていくことを「作ろう福祉の輪」に込め、本計画の基本理念にしました。

さらに、アンケート結果で挙げられた地域福祉に関わる課題を整理し、「はぐくみ・つながり・ぬくもり・やすらぎ」の4つの言葉を、計画を進めていくうえでのキーワードとしました。

また、「はぐくみ・つながり・ぬくもり・やすらぎ」という異なる言葉をすべて「福祉」で表すことで、さまざまな地域課題は「すべての人の普段の暮らしの幸せ」につながっていることを表現し、計画を進めていきます。

※新しい生活様式に向けて・・・

令和2年、新型コロナウイルスの出現に伴い、感染拡大を防ぐため、「3密（密閉・密集・密接）」を避けることが求められ、各種イベントの中止や学校の休校、各施設の休館にあわせて、自粛要請が行われました。

そのような状況下においても、新型コロナウイルス感染症の感染予防を図りながら日常生活を送るため、国から「新しい生活様式」が示され、日常生活のあらゆる場面で感染防止を意識することが求められる現在、「ウイズコロナ」の中で地域での交流や見守り活動を継続できるよう、新しい形での「地域の支えあい」を町民の皆さまとともに進めていきます。

また、コロナ禍だからこそこれまで以上に情報提供体制を強化し、年代や家族構成などそれぞれのケースに配慮した情報発信に努めます。

## 2 基本目標

### 基本目標1 みんなで考え生み出す福祉(はぐくみ)

身近な地域で生じている問題は、地域のすべての人にかかわる問題であるという認識を深め、誰もが福祉に関心を持ち、問題を自ら解決していく地域づくりの実現や多くの住民が地域福祉の担い手として活躍できる地域づくりを目指します。

そのため、国籍にかかわらず子どもから大人まで、幅広い世代に対して福祉意識の醸成に努め、リーダーやコーディネーターなど地域で中心となって活躍できる人材の発掘・育成や活用を推進します。

### 基本目標2 みんなで広げる地域の福祉(つながり)

地域に住んでいるあらゆる住民が世代を超えてふれあい、交流することができるよう、地域活動の場の創設や機会の提供に努めるとともに、地域で行われているさまざまな活動が活発化するよう支援します。

また、地域の関係組織との連携を強化し、活動内容の情報発信や団体同士が交流できる福祉ネットワークの形成を図るなど、地域福祉推進体制の強化に努めます。

### 基本目標3 みんなで支え育てる福祉(ぬくもり)

町民一人ひとりが主体的かつ適切に福祉サービスを利用することができるよう、十分なサービス基盤の整備や多様なサービスの連携を強化するとともに、利用者の視点に立ち多様化する問題に対して相談支援体制・情報提供体制の充実や利用者の権利を保護する制度の普及を図ります。また、安心して暮らしていくには、見守り活動が重要となるため、さまざまな団体等による地域での支えあいの仕組みを構築します。

### 基本目標4 みんなで守ろう我らの福祉(やすらぎ)

誰もが安全・安心に暮らし続けられるよう、災害時を想定し、配慮を要する人の状況に合わせた防災体制の強化や地域で行う避難訓練への参加を促すとともに、防犯対策の推進による町民の防災・防犯に対する意識の醸成と地域全体の安全・安心のための住環境の整備に努めます。

さらに、高齢者や障害者をはじめ、すべての人が安全で快適な生活が送れるよう、ユニバーサルデザインを意識したまちづくりを推進します。

### 3 持続可能な地域づくりを目指した計画

「持続可能な開発目標」SDGsは、Sustainable Development Goalsの略称です。「誰一人取り残さない」社会を実現するため、平成27（2015）年9月の国連サミットで採択されました。持続可能な世界を実現するため平成28（2016）年から令和12（2030）年までの目標として、17のゴールと169のターゲットが掲げられています。

地域福祉においても、持続可能な地域づくりは不可欠なものといえます。

17のゴールには、「すべての人に健康と福祉」をはじめ「貧困をなくそう」といった地域福祉に関わるものもあり、こうした視点を踏まえて地域福祉を進めていく必要があります。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1

みんなで考え生み出す

福祉（はぐくみ）



2

みんなで広げる地域の

福祉（つながり）



3

みんなで支え育てる

福祉（ぬくもり）



4

みんなで守ろう我らの

福祉（やすらぎ）



1 地域福祉を進めるための土壌づくり

- (1) 学校や地域における福祉教育の充実
- (2) 広報・啓発活動の充実
- (3) 健康で活気のある地域づくり

2 地域を引っ張る人材の発掘と育成

- (1) 地域活動・ボランティアへの人材発掘やリーダーの育成
- (2) ボランティア団体などと担い手をつなぐ仕組みづくり

1 地域でのふれあい、交流の場づくり

- (1) 世代等を超えた交流の推進
- (2) 地域での交流活動の推進

2 地域活動やボランティア活動などの活性化

- (1) 地域活動やボランティア活動への支援
- (2) 地域活動組織の活性化

3 地域福祉のネットワークづくり

- (1) 多様な活動をつなぐネットワークづくり
- (2) 社会福祉協議会・地区社会福祉協議会の活動の充実

1 福祉サービスの充実

- (1) 福祉サービスの推進
- (2) 権利擁護の推進

2 相談支援・情報提供の充実

- (1) 総合的な相談支援体制の充実
- (2) 重層的支援体制の整備
- (3) 情報提供体制の充実

3 地域における支えあい助けあいの仕組みづくり

- (1) 地域での支えあいの関係づくり
- (2) 見守り体制の充実

1 防災体制の充実

- (1) 災害時における地域防災体制づくり
- (2) 災害時要配慮者等の避難支援体制づくり

2 暮らしやすい生活環境の充実

- (1) 地域で取り組む防犯体制づくり
- (2) 快適に暮らせる環境づくり
- (3) 外出しやすいまちづくりの推進